

## 安全データシート (SDS)

## 1 化学品及び会社情報

## 化学品の名称

## 製品名

発泡剤 A 剤

## 会社情報

## 供給者の会社名称

ナガセルータック株式会社

## 担当部署

品質保証・環境対策部

## 住所

〒598-0094 大阪府泉南郡田尻町りんくうポート南 1-6

## 電話番号

072-466-7711

## Fax 番号

072-466-7877

## 緊急連絡電話番号

上記に同じ

## 推奨用途

土木用封着剤

## 使用上の制限

上記の用途以外の使用はしない。

## 2 危険有害性の要約

## GHS 分類

## 物理化学的危険性

引火性液体：区分外

## 健康有害性

急性毒性（経口）：分類できない  
急性毒性（経皮）：分類できない  
急性毒性（吸入：気体）：区分に該当しない  
急性毒性（吸入：蒸気）：区分に該当しない  
急性毒性（吸入：粉塵、ミスト）：分類できない  
皮膚腐食性／刺激性：分類できない  
眼に対する重篤な損傷／眼刺激性：分類できない  
呼吸器感作性：分類できない  
皮膚感作性：分類できない  
生殖細胞変異原性：分類できない  
発がん性：分類できない  
生殖毒性：分類できない  
特定標的臓器毒性（単回ばく露）：分類できない  
特定標的臓器毒性（反復ばく露）：分類できない  
誤えん有害性：分類できない

## 環境有害性

水生環境有害性 短期（急性）：分類できない

オゾン層への有害性：分類できない

**GHS ラベル要素**

|         |   |
|---------|---|
| 絵表示     | 不要  |
| 注意喚起語   | 不要  |
| 危険有害性情報 | 通常において危険性・有害性はありませんが、直接皮膚に長時間触れると軽いかぶれなどの症状が出る場合があります。    |
| 注意書き    | 安全対策：7. 取扱い及び保管上の注意に記載（後述 4 頁）<br>応急処置：4. 応急措置に記載（後述 2 頁） |

**3 組成及び成分情報**

## 化学物質・混合物の区別

混合物

## 組成及び成分情報

| 化学名又は一般名    | CAS 番号     | 官報公示<br>整理番号 |     |     | 濃度又は濃度範囲<br>(wt%) |
|-------------|------------|--------------|-----|-----|-------------------|
|             |            | 化審法          | 安衛法 | 化管法 |                   |
| ポリエーテルポリオール | 25791-96-2 | 既存           | 非該当 | 非該当 | 96～99             |
| トリエチレンジアミン  | 280-57-9   | 5-1141       | 該当※ | 非該当 | 0.3～0.5           |
| 水、製泡剤など     | 非公開        | 非公開          | 非該当 | 非該当 | 1～3               |

※：2025年4月より 安衛法：通知対象物質に該当

※：成分名および成分（%）については企業秘密の為簡略化

**4 応急措置**

## ばく露経路による応急措置

|           |   |
|-----------|---|
| 吸入した場合    | ミスト等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診断を受けること。             |
| 皮膚に付着した場合 | 水及び石鹼または皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とすこと。<br>外観に変化や痛みがある場合には医師の診断を受けること。 |
| 眼に入った場合   | 直ちに大量の清浄な流水 15 分以上洗う。瞼の裏まで完全に洗うこと。できるだけ早く医師の診断を受けること。         |
| 飲み込んだ場合   | 誤って飲み込んだ場合には、できるだけ吐き出させて、安静にして直ちに医師の診断を受けること。無理に吐かせないこと。      |

## 急性症状の最も重要な徴候症状

特に報告されていない。

### 遅発性症状の最も重要な徴候症状

特に報告されていない。

### 応急措置をする者の保護に必要な注意事項

救助者は手袋、保護マスク、ゴーグル等の適切な保護具を着用する。

### 医師に対する特別な注意事項

特になし。

---

## 5 火災時の措置

---

### 適切な消火剤

粉末消火器、泡消火器、炭酸ガス消火器、乾燥砂

### 使ってはならない消火剤

棒状の水（ホースなどから棒状に出る水）

### 火災時の特有の危険有害性

燃焼ガスには一酸化炭素等の有害ガスが含まれるので、消火作業の際には煙の吸引を避ける。

### 特有の消火方法

初期の火災には、粉末消火器、炭酸ガス消火器、乾燥砂等を用いる。

大規模火災には、泡消化剤を用いて空気を遮断する。

可燃性の物を周囲から、素早く取り除くこと。

消火のための放水等により、製品もしくは化学物質が河川や下水に流出しないように適切な措置を行う。

### 消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

消火作業では、手袋、保護マスク、ゴーグル、適切な空気呼吸器等の適切な保護具を着用する。

---

## 6 漏出時の措置

---

### 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

作業者は適切な保護具（手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等）を着用する。

### 環境に対する注意事項

河川等へ排出され、環境への影響を起こさないように注意する。

### 封じ込め及び浄化の方法及び機材

土砂等に吸収させ、除去した後濡れた場所を十分に水洗いする。大量の流出には盛土で囲って流出を防止する。

付着物、廃棄物等は、関係法規に基づいて処置する。

回収した液の入った容器は、密閉せずに処理する。

## 二次災害の防止策

付近の着火源、高温体及び可燃物を素早く取り除くこと。  
着火した場合に備えて、適切な消火器を準備する。  
衝撃、静電気で火花が発生しないような材質の用具を用いて回収すること。

---

## 7 取扱い及び保管上の注意

---

### 取扱い

|          |   |
|----------|---|
| 技術的対策    | 皮膚、粘膜又は着衣に触れたり、目に入らないよう適切な保護具を着用する。<br>静電気対策のため、装置は接地し、電気機器類は防爆型（安全増型）を使用する。<br>工具は火花防止型のものを使用する。                             |
| 安全取扱注意事項 | 密閉された場所における作業には、十分な局所排気装置をつけ、適切な保護具をつけて作業する。<br>周辺でスパーク、高温物の使用を禁止する。<br>容器はその都度密栓する。<br>取扱後は、手、顔等をよく洗い休憩所等に手袋などの汚染保護具を持ち込まない。 |

### 保管

|           |  |
|-----------|--|
| 技術的対策     | 保管場所には危険物を貯蔵し、又は取扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。   |
| 混触禁止物質    | 10. 安定性及び反応性を参照。   |
| 保管条件      | 直射日光を避け、冷暗所に保管する。<br>通風のよいところに保管する。<br>火気、熱源から遠ざけて保管する。<br>容器を開放した後は、乾燥窒素又は乾燥空気で置換し密閉保管する。 |
| 安全な容器包装材料 | 包装、容器の規制はないが密閉式の破損しないものに入れる。   |

---

## 8 ばく露防止及び保護措置

---

### 設備対策

取扱設備は防爆型を使用することが望ましい。  
排気装置をつけて、蒸気が滞留しないようにする。  
取扱場所の近くには、高温、発火源となるものが置かれられないような設備にすること。

### 保護具

|              |                        |
|--------------|------------------------|
| 呼吸用保護具       | 密閉された場所では送気マスクを着用すること。 |
| 眼及び/又は顔面の保護具 | 保護メガネを着用すること。          |
| 皮膚及び身体の保護具   | 静電気防止作業服、安全靴を着用すること。   |

**特別な注意事項**

本製品を使用する際は、飲食あるいは喫煙をしないこと。取扱い後はよく手を洗うこと。

**9 物理的及び化学的性質**

|                                |                  |
|--------------------------------|------------------|
| 物理状態                           | 液体               |
| 色                              | ほぼ無色透明           |
| 臭い                             | ほとんどなし           |
| 融点／凝固点                         | 0°C以下            |
| 沸点又は初留点                        | 250°C以下          |
| 可燃性                            | あり               |
| 爆発限界及び爆発上限界                    | データなし            |
| 引火点                            | 200°C以上          |
| 自然発火点                          | データなし            |
| 分解温度                           | データなし            |
| pH                             | 該当しない            |
| 動粘性率                           | データなし            |
| 溶解度                            | データなし            |
| <i>n</i> -オクタノール／水分配係数 (log 値) | 該当しない            |
| 蒸気圧                            | データなし            |
| 密度及び／又は相対密度                    | 1.00～1.10 (25°C) |
| 相対ガス密度                         | データなし            |
| 粒子特性                           | 該当しない            |

**10 安定性及び反応性**

|            |                        |
|------------|------------------------|
| 反応性        | データなし                  |
| 化学的安定性     | 常温において比較的安定            |
| 危険有害性反応可能性 | 酸化剤と反応し、火災を起こすことがある。   |
| 避けるべき条件    | 火気、高温                  |
| 混触危険物質     | 酸化剤                    |
| 危険有害な分解生成物 | 燃焼すると一酸化炭素、二酸化炭素が発生する。 |

**11 有害性情報****製品の有害性情報**

|                   |                    |
|-------------------|--------------------|
| 急性毒性 (経口)         | データがないため「分類できない」   |
| 急性毒性 (経皮)         | データがないため「分類できない」   |
| 急性毒性 (吸入：気体)      | 製品は気体ではないので「分類対象外」 |
| 急性毒性 (吸入：蒸気)      | 計算の結果「分類対象外」       |
| 急性毒性 (吸入：粉じん／ミスト) | データがないため「分類できない」   |
| 皮膚腐食性／刺激性         | データがないため「分類できない」   |
| 眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性  | データがないため「分類できない」   |

|                 |                  |
|-----------------|------------------|
| 呼吸器感作性又は皮膚感作性   | データがないため「分類できない」 |
| 生殖細胞変異原性        | データがないため「分類できない」 |
| 発がん性            | データがないため「分類できない」 |
| 生殖毒性            | データがないため「分類できない」 |
| 特定標的臓器毒性（単回ばく露） | データがないため「分類できない」 |
| 特定標的臓器毒性（反復ばく露） | データがないため「分類できない」 |
| 誤えん有害性          | データがないため「分類できない」 |

\*この製品での安全性試験は行っていない。

## 12 環境影響情報

### 製品の環境影響情報

|           |  |
|-----------|--|
| 生態毒性      | 水生環境有害性 短期（急性）：データがないため「分類できない」<br>水生環境有害性 長期（慢性）：データがないため「分類できない」 |
| 残留性・分解性   | データなし  |
| 生体蓄積性     | データなし  |
| 土壌中の移動性   | データなし  |
| オゾン層への有害性 | データがないため「分類できない」   |

## 13 廃棄上の注意

### 残余廃棄物

廃棄物は許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をすること。  
 大量の硬化や不適切な硬化条件では発火する恐れがあるため、硬化物にせず、かつ単体として他の物質と混合しないで破棄すること。  
 容器、機械装置等を洗浄した廃水等は、地面や排水溝へのそのまま流さないこと。  
 廃水処理、焼却等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法律に従って処理を行うか、委託すること。

### 汚染容器及び包装

空の汚染容器、包装材料を処分する際は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をすること。

## 14 輸送上の注意

### 注意事項

転倒、落下、破損のないように積み込み、荷崩れ防止を確実にすること。

### 国際規制

|      |     |
|------|-----|
| 国連番号 | 非該当 |
| 国連分類 | 非該当 |
| 容器等級 | 非該当 |

## 緊急時応急措置指針番号：非該当

## 国内規制

|      |   |
|------|---|
| 陸上輸送 | 消防法、労働安全衛生法、毒劇法に該当する場合は、それぞれの該当法規に定められた運送方法に従うこと。 |
| 海上輸送 | 船舶安全法の定めるところに従うこと。                                |
| 航空輸送 | 航空法の定めるところに従うこと。                                  |

## 15 適用法令

## 該当法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報

|               |  |
|---------------|--|
| 化学物質審査規制法     | 既存化学物質（ポリエーテルポリオール）  |
| 化学物質排出把握管理促進法 | PRTR法：排出量等の把握やSDS提供の対象：非該当   |
| 労働安全衛生法       | 名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物（ラベル表示・SDS交付義務対象物質）（2025年4月1日以降）<br>表示対象物質：非該当<br>通知対象物質：トリエチレンジアミン<br>がん原性物質（作業記録等の30年保存対象物質）：非該当<br>化学物質による健康障害防止のための濃度の基準（濃度基準値設定物質）：非該当<br>皮膚等障害化学物質等及び特別規則に基づく不浸透性の保護具等の使用義務物質<br>皮膚刺激性有害物質：非該当<br>皮膚吸収性有害物質：非該当<br>特定化学物質等（特化則）：非該当<br>有機溶剤等（有機則）：非該当<br>変異原性が認められた化学物質：非該当<br>第4類第四石油類非水溶性液体 |
| 消防法           | 第4類第四石油類非水溶性液体   |
| 毒物及び劇物取締法     | 非該当  |
| 大気汚染防止法       | 非該当  |
| 労働基準法         | 非該当  |
| 外国為替及び外国貿易法   | 輸出貿易管理令別表第1の16の項   |

## 16 その他の情報

- ・この情報は、新しい知見および試験等により改定されることがあります。
- ・本書の記載内容は、当社の最善の知見に基づくものですが、情報の正確さ、安全性等の情報提供であって、いかなる保証をなすものではありません。
- ・注意事項は通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いをする場合には、新たな用途用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。
- ・製品を構成するすべての化学品には、未知の有害性があり得るため、取扱いには細心の注意が必要です。ご使用各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるよう、お願い申し上げます。